

マハラジャー

Mahrajan 2014 マハラジャー

マハラジャー (Mahrajan) とは、フェスティバルを意味するアラビア語。文学やアートがもつ力に身をゆだね、その

1回目の今年も、現在欧米で暮らすアラブ系作家3名と、レバノンに住むパレスチナ人の来日を機に、困難な世界を大胆に行き来する文学/言葉との出会いの場を作り、拡散させていきます。

Mahrajournal

Mahrajan2014とその関連企画に参加するならば必携の、参加できないなら、なおさら入手しておきたいプログラム。来日する作家たちの紹介と作品の抄訳が収録され、企画の背景がわかる。無料配布!

抵抗と追憶のイメージ パレスチナ・ポスター展

1948年、イスラエル建国にともなって難民となったパレスチナ人たちは、離散先で社会を再生させ、抵抗運動を作り出した。そのなかで作り出された各種のポスターは、パレスチナ人のアイデンティティや抵抗への意思を豊かに表現するアートでもある。

2014 10/17 Fri ~ 22 wed 13:00~21:00

会場 ● 高円寺・素人の乱 12 号店

離散を生きる パレスチナ人アブー・イマードの回想

パレスチナ北部のソフマータに生まれ、14歳で家族とともに村を追われたアブー・イマード (ムハンマド・ハッシャーン)。レバノンの難民キャンプ生活のなかで教員として生計を立て、妻子に囲まれた暮らしを送りながらも、パレスチナ難民固有の苦難はついてまわる。自伝を刊行し初来日する氏の回想に耳を傾ける。

2014 10/18 Sat 18:00~

会場 ● 高円寺 Pundit'
参加費 ● 1,000円 + 1ドリンク

関連イベント

リングア茶屋 Vol.14 モナ・プリンスさんの「アラブの春」

2014 10/16 Thu 19:00~20:30 (受付開始 18:30)

会場 ● アレイホール (世田谷区北沢 2-24-8 下北沢アレイビル 3F)

小田急線・井の頭線「下北沢駅」北口より徒歩3分

※参加費 500円 (介助者は参加費無料)

予約・問合せ先 ● リングア・ギルド

Tel: 03-5452-4450 Fax: 03-6407-9844 メール: lingua@linguaguild.com

パレスチナ難民のオーラルヒストリーを聴く ——ムハンマド・ハッシャーン氏を迎えて

2014 10/18 Sat 14:00~ (開場 13:30)

会場 ● 成蹊大学 10号館 2階・第2中会議室

※大学へのアクセスその他は19日のイベントと同じ

越境・表現・アイデンティティ ラウイ・ハージ/モナ・プリンス/サミュエル・シモン

2014 10/19 Sun 13:00~ (開場 12:30)

コメント ● 小野正嗣 (作家/フランス文学) 山本薫 (アラブ文学) 太田昌国 (現代企画室)

会場 ● 成蹊大学 10号館 2階・大会議室

中央線・吉祥寺駅北口から徒歩15分、バス5分

※参加費無料・逐次通訳あり

主催 ● 成蹊大学アジア太平洋研究センター

Tel: 0422-37-3549 Fax: 0422-37-3866 メール: caps@jim.seikei.ac.jp

محمد خشان

MONA PRINCE

ラウィ・ハージ
藤井光 訳

BANIPAL
Magazine of

Ashur Ewebi
Raïce Jaber
Alexandra Chreïteh
Amir Tag Elsir
Ali Bader

Arabic
writers in
Sweden

Manhal Alsarraj
Salim Barakat
Faraj Bayrakdar
Jalil Haydar
Mohammad A. Al-Hussaini
Jonas Hassen Khemiri
Nasif al-Nasiri
Farouq Salloum
Sabri Youssef

Guest
Literature

Sloven

الخط الشمالى
تجربة ذاتية

REVOLUTION
IS MY NAME

An Egyptian Woman's Diary from
Eighteen Days in Tahrir



サミュエル・シモン Samuel Shimon

1956年、イラクの貧しいアッシリア系の家庭生まれ。1979年、映画製作にあこがれて単身でイラクを出る。アラブ諸国を移動したのち、パリで暮らす。1996年にロンドンに移住し、現代アラブ文学を英語訳で紹介する「Banipal」誌を刊行。アラブ作家や知識人の友人を多数もつ。



ラウィ・ハージ Rawi Hage

1964年、ベイルート生まれ。1975年に始まった内戦下のベイルートとキプロスで育つ。84年ニューヨーク、92年モントリオールに移住し写真と美術を学ぶ。2006年に内戦下のベイルートを少年の視点でとらえた「デニエロ・ゲーム」を発表(日本語訳は2011年、白水社より刊行)。

Photo. Babak Salari



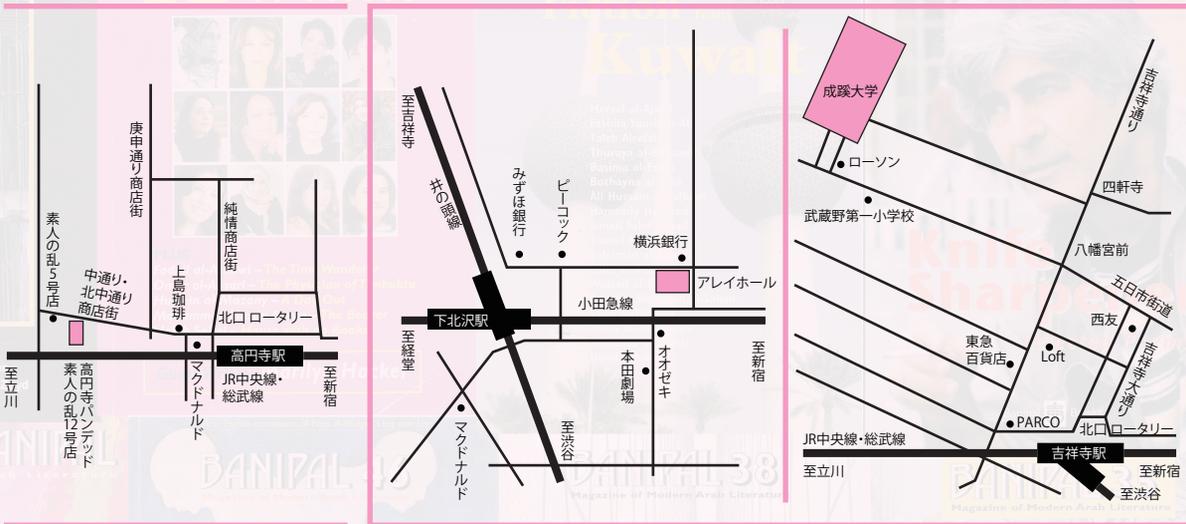
モナ・プリンス Mona Prince

1970年エジプト生まれ。文学博士。現在スエズ大学芸術学部助教授(英文学)。2008年、激しい愛の行程を描いた「インニーウハッデスカ・リタラー(あなたが分かるように話す)」を発表。2011年「アラブの春」には積極的に抗議行動に参加し、18日間の経験を記した「わが名は革命」を発表。



ムハンマド・ハッシャーン Mohammad Khashan

1934年、パレスチナのソフマータに生まれ、長年レバノンの難民キャンプで暮らす。2007年よりメモワールの執筆を開始し、ウェブサイトやアラブ紙に寄稿。詩作も行なう。サミュエル・シモン氏の活動を支える友人イマード・ハッシャーン氏の父親にあたる。



مهرجان Mahrajan
2014 **マハラジャーン**

問い合わせ ● マハラジャーン 2014 実行委員会

mahrajapan@gmail.com

BANIPAL
Magazine of

Mo
Tu
Lit

PLU
Add
FAB
BAN
Arab
Lit

BANIPAL
Magazine of

Celebrat



Raja Alem: Reading

BANI
Magazine of



New Writ
Emi



Abdelkader Benali, Naima El Beza
Hafid Bouazza, Rodaan Al-Galidi,
Rachida Lamrabet, Fouad Laroui,
Ramey Nasr, Rashid Novaire,
Mustafa Sitou, Rada Sukkar

Guest
Lit

PLUS
Mohamed el-Bisatie, Habib Tanguar,
Ezzat el-Kamhawi, Ali Mohammed

Magazine of Modern Arab Literature

RAQI AUTHO

Magazine of Modern Arab Literature

PLUS
Excerpts from the
International Prize for
Arabic Fiction shortlist 2013

Guest Writer:
Lorand Gaspar

PLUS
Four poets from the shortlist

A Traveling Tale by Youssef Rakha
Theatre by Hassan Abdulrazzak

Abdelkader Benali, Naima El Beza
Hafid Bouazza, Rodaan Al-Galidi,
Rachida Lamrabet, Fouad Laroui,
Ramey Nasr, Rashid Novaire,
Mustafa Sitou, Rada Sukkar

Abdelkader Benali, Naima El Beza
Hafid Bouazza, Rodaan Al-Galidi,
Rachida Lamrabet, Fouad Laroui,
Ramey Nasr, Rashid Novaire,
Mustafa Sitou, Rada Sukkar

Guest
Lit

Farewell,
Naguib Mahfouz

Autumn/Winter 2006